10／23（金）の行事

【道庁プレスリリース】

報道発表資料の配付日時　10月20日（火）15時00分

発　表　項　目 （行　事　名）	「令和８年度（2026年度）北海道福祉のまちづくり賞」受賞者の決定及び表彰式の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	（実施日時）	発 表 者	
		発表場所	
概　　要	北海道福祉のまちづくり賞は、福祉的配慮に優れた事例を広く道民や関係事業者に紹介し、普及啓発を図ることを目的として、「北海道福祉のまちづくり条例」が施行された平成10年にスタートし、今年度で28回目を迎えました。今年度も、公共的施設部門・活動部門・福祉用具部門の３部門で募集を行い、福祉・建築・市民活動など各分野の有識者５名で構成する「北海道福祉のまちづくり懇談会」（座長：北翔大学　佐藤　克之　名誉教授）における意見交換や現地確認等をもとに、次のとおり受賞者を決定し、表彰式を執り行います。 １　受賞者 　別添「受賞者一覧」のとおり ２　表彰式 （１）日時　令和８年（2026年）10月23日（金）14:00～15:00 （２）場所　赤れんが庁舎　赤れんがホールＡ 　　（札幌市中央区北３条西６丁目） （３）賞状授与者　保健福祉部長		
参　　考	関連行事として、受賞者の紹介を含むパネル等を展示する「北海道福祉のまちづくり展」を開催します。 （１）日時　令和８年（2026年）10月29日（木）、30日（金）10:00～16:00 （２）場所　北海道庁本庁舎１階　特設展示場Ｂ		

報道（取材）に当たってのお願い	取材を希望する場合は、行事の前日までに下記担当宛て御連絡ください。 ※御連絡いただいた報道機関に、赤れんが庁舎入場用のＱＲコードを送付いたします。	
他のクラブとの関係	同時配付 ~~同時レク~~	道政記者クラブ 空知・石狩・後志・オホーツク・釧路の各（総合）振興局記者クラブ

担　　当 （連絡先）	保健福祉部福祉局地域福祉課（担当者：課長補佐　小薮） ＴＥＬ　ダイヤルイン　０１１－２０４－５２６７ 内線２５－６０４ オホーツク総合振興局保健環境部社会福祉課（担当者：課長　尾崎） ＴＥＬ　ダイヤルイン　０１５２－４１－０６８６　内線３８００

「令和８年度(2026年度）北海道福祉のまちづくり賞」受賞者一覧

１ 公共的施設部門

番号	施　設　名　称	所在地	応募者	受賞者	
				施設所有者	設計者
1	砂川市まちなか交流施設すないる	砂川市西１条北２丁目１番２０号	砂川市	※応募者と同じ	(株)ドーコン
2	道の駅しらぬか　恋問館	白糠郡白糠町恋問３丁目２－１の内	株式会社創造設計舎	白糠町	株式会社アトリエブンク 株式会社創造設計舎

２ 活動部門

番号	受賞団体名称	所在地	応募者
1	釧路市職親会	釧路市音羽215番地12 音羽協働センター内	※受賞団体と同じ
2	北海道紋別高等養護学校 北海道紋別養護学校	紋別市渚滑町元新１丁目152-1	※受賞団体と同じ
3	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 北海道済生会	小樽市築港10番地１号	※受賞団体と同じ

３ 福祉用具部門

番号	福祉用具名称	製作者	所在地	応募者
1	滑りにくい靴型 杖先ゴム「つえくつ」	株式会社つえくつ	札幌市中央区北４条西７丁目 ５ 緑苑第２ビル511	※受賞団体と同じ

令和８年度（2026 年度）北海道福祉のまちづくり賞　受賞理由

1　公共的施設部門（２件）

施設名
　砂川市まちなか交流施設すないる

・所在地　砂川市西１条北２丁目１番２０号
・所有者　砂川市
・設計者　株式会社ドーコン

受賞理由

【ふらっと立ち寄れるまちの居場所へ】

「砂川市まちなか交流施設すないる」は、北海道産木材の温もりと、吹き抜けの開放感を生かした、誰もが集えるまちの居場所となる施設。

観光案内所やカフェ、キッズスペース、授乳室、多目的トイレ、屋内外のイベント空間を備えており、さらに積雪の地域性を踏まえ屋内にも屋外用の床材を採用するなど、安全にも配慮されている点や、年齢や障がいの有無、地域住民・来訪者を問わず、安心して過ごせる工夫と交流や賑わいの中に必要な配慮を溶け込ませた点などが高く評価された。

施設名
　道の駅しらぬか　恋問館（こいといかん）

・所在地　白糠郡白糠町恋問３丁目２－１の内
・所有者　白糠町
・設計者　株式会社アトリエブンク
　　株式会社創造設計舎

受賞理由

【思い思いに楽しめる趣向と、細やかな配慮がうれしい魅力ある道の駅】

国道から入る広大な駐車場は、多種多様な車両が機能的かつ安全に駐車できるよう整理されており、館内は明るく地元産の木材を使用した落ち着いたデザインで居心地が良く、各コーナーはほどよく配置されゆったりと移動できる施設。

多目的トイレなどサニタリー部分は集約された位置にあり、利用者に優しい細やかな福祉的配慮がされている点や、疲れを癒す海の見えるサウナは道の駅では珍しく、魅力的であり、館内外での多様な楽しみを盛り込んだ新しい形の道の駅として高く評価された。

2　活動部門（３件）

活動団体名
釧路市職親会

・所在地　釧路市音羽 215 番地 12　音羽協働センター内

受賞理由
【独りぼっちの働く障がい者をなくすための活動】
釧路市を中心に、地域全体の課題となっている人材不足を解消するために、障がいのある方や地域の就労支援事業所と人手不足の企業・事業所とのビジネスマッチングなどの活動を行い、企業と福祉の結びつきのきっかけとなった活動。
その他にも、支援学校等を卒業して一般企業に就職した方を対象とした「初めて就職する子の合同入社式」を開催しており、令和８年度で３８回目となる継続的な活動が高く評価された。

活動団体名
北海道紋別高等養護学校
北海道紋別養護学校

・所在地　紋別市渚滑町元新１丁目 152-1

受賞理由
【地域に貢献できる教育活動を通じた『明日の社会に貢献する活動』】
学校教育目標として「明日の社会に貢献」を掲げており、地域に貢献できる教育活動の一環で、児童生徒が潤いのあるまちづくりの一助となるように、ボランティア・サポート･プログラムにおける花壇整備などを通じて、地域住民と協働しながら行う地域の美化活動。
ボランティアを通じて学校・行政・地域住民の三位一体となった取組で、生徒の自己有用感を高める、美しいまちづくりに貢献している活動である点などが高く評価された。

活動団体名
社会福祉法人恩賜財団済生会支部北海道済生会

・所在地　小樽市築港 10 番地１号

受賞理由
【商業施設を拠点とした誰もが健康で暮らし続けられるまちづくり活動】
ウイングベイ小樽を拠点とし、施設内に健康・福祉ゾーン「済生会ビレッジ」や、障がい者就労やユニバーサルスポーツの普及を推進する「済生会スクエア」を設け、商業施設の中でも介護・健康相談、福祉サービスに触れられるよう、行政との包括連携協定などを通じて多世代･他主体が交わる場を形にした活動。
地域共生社会の実現と「福祉のまちづくり」に貢献するため、今後の超高齢化社会で必要となる医療・福祉・介護などの包括的な活動を展開している点が高く評価された。

3　福祉用具部門（１件）

用具名
滑りにくい靴型杖先ゴム「つえくつ」

・所在地　札幌市中央区北４条西７丁目５緑苑第２ビル 511
・製作者　株式会社つえくつ

受賞理由

【あらゆる路面での滑りにくさを発揮する３刀流の性能を持つ杖先ゴム】

ブラックアイスバーンなどの凍結路面、雪解け期のウェット路面、洗剤で濡れたタイル床など、杖歩行者にとっての滑りやすい場所での転倒を防ぐ用具。

季節を問わず利用できるほか、一般に従来式の鋭利な先端を有する金具（アイスピック）を取り付けるものと違い、室内を傷つけることもないため屋内外での利用が可能な点や、スタッドレスタイヤと同じ素材で、従来のゴム素材よりも滑りにくい工夫がされており、適切な大きさと使いやすさを備えた点などが高く評価された。